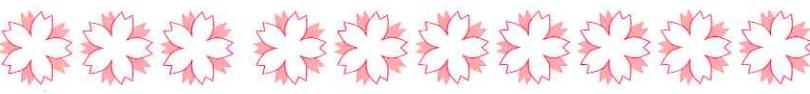


全国  第8号

母親クラブだより

「みんなで育てる地域の子」—みんな仲間よ母親クラブ—
<http://www.hahaoya-club.ne.jp/>



- 会長新春挨拶
- 全国大会・総会報告
- ブロック別研修会報告
- 活動報告
- 第4回『メディア・チェック』
の集計結果
- 行政だより
- 新会長のご紹介
- 事務局だより



発行 全国母親クラブ連絡協議会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-33-1-10F
財団法人 児童健全育成推進財團内

TEL. 03-3797-8183~4 FAX.03-3486-5142



※※表紙の写真を募集しています。日々の活動や催事など、全母協事務局までどしどしご応募ください。※※



全国母親クラブ連絡協議会
会長
重田 強子

飛躍の世紀となるために

会長新春挨拶

全国大会を終えて

平成12年11月9日・10日の二日間、東京都府大会議場において、第二十七回地域組織活動指導者母親クラブ全国大会が開催されました。

初日はノンフィクション作家山根一

夢ふくらみ、胸はずむ二十一世紀、子ども達の瞳は一等星より明るく輝いています。二〇〇一年の年明けに出会った喜びでしょうか。

最近の社会情勢の変化はめまぐるしく、あふれる情報、技術革新、複雑化するしくみなど、魂の存在が見られる現状です。この新時代に育つ子ども達は、どこで心が養われるでしょうか。メディアやモータリゼーションに捕われすぎて、心のコミュニケーションを忘れているようです。

人が成人するまでにより多くの人と関わり、より多くの生活体験を重ねることにより、やさしくたくましい心が育ちます。その土俵づくりが母親クラブの役目です。「まちの子はみんなわが子」子育てを社会の大事業としてハンド、ソフトの両面から考え、改めて今年を飛躍の世紀のスタートにしましょう。

二日目は、全母協総会、ブロック報告の後、ゆう杉並職員鈴木良東氏を会員手作りのひとときをなごやかに過ごしました。

全国大会・総会報告

リーダーに、今大会のテーマから出された問題の解決へのヒントを探るワーキングを体験しました。

会場は興奮の内に全体会を終え、な

ごりを惜しむ間もなく、二〇世紀最後

の大会の幕を閉じました。また、会場

で募った三宅島への義援金七一、二三

四円が東京都福祉局へ贈られました。

母連としては不安を抱えた一年でした。が、せめて私達の想いをこめて「みんなの会でありたい」と考へ、若者の参加にこぎつけました。ここに関係各位、また、ボランティアの方々のご協力を感謝致します。

真氏が「インターネット社会に築くぬくもりの地域ネットワーク」をテーマに講演、震災から地域のつながりの大切さを実感し、中学でできた父親の会で防災活動やパソコンの学習等を重ね、地域にネットを張つて子どもや地域を自分で守り育もうと活動している、とのお話でした。

続くフォーラムは、「みんなで育てる地域の子—ふれあうぬくもりあなたの私—」をテーマに、杉並区立児童青少年センター(ゆう杉並)職員鈴木雄司氏をコーディネーターに、「みんなで子育てメーリングリスト」代表鈴木久美子氏、ゆう杉並中・高校生運営委員OBの浅野純君と高橋篤君(一九才)、都母連会長鈴木真知子氏をパネラーに迎えて行されました。今回は大人の想いの中だけに終わらないものをと、初めてパネラーに若者の代表を交え、更に会場の声も拾い、会場参加型の一体感のあるフォーラムとなりました。

記 川村みどり

【北海道・東北・関東ブロック】

ブロック別研修会報告

残暑厳しい、去る九月七日・八日の両日にわたり、福島県歴史の里会津若松市に於いて、厚生省・各県市行政担当者・母親クラブの皆様方をお迎えして、ブロック研修会が開催されました。

開会の挨拶に始まり、会津若松市長の祝辞、厚生省の行政説明の後、「みんなで育てる地域の子」—ふれあうぬくもりあなたと私のテーマで会場と

の意見も交えながらのフォーラムが開催されました。講演には、最近の子どもたちの活字離れの危機を感じ、豊かな感受性を育むには「読み聞かせ」が不可欠と自ら『よい子に読み聞かせ隊』

を結成し、自作童話での読み聞かせ交流活動をなされている、作家の志茂田景樹氏を講師に迎え、「読み聞かせと楽しい子育て」と題し講演を頂きました。二日目は、今年度は、分科会テーマを設けず、前日の「フォーラムを通して私が感じたこと」三グループに分かれ、グループ討議され、地元「鶴城触れ合いクラブ」、結成一年目の「郡山母親クラブ」の活発な活動状況報告後、各グループの討議内容が報告され、鈴木一光常務理事の講評を頂き、二日間の研修会が終了致しました。



【中部・近畿ブロック】

去る、七月十三日・十四日(木・金)の二日間、厚生省、各県行政担当者をお迎えし、和歌山市「アバローム紀の国」に於いて中部・近畿ブロック指導者研修会が開催された。

『第一日目』開会式に続き行政説明があり、児童虐待や子育て支援事業等の対応や対策についてや、母親クラブの活動がまだ多くの人に理解されていないとのお話をあった。

次は有吉實氏(臨床心理学者)による講演、テーマは「人間本来の幸せとは『子どもの心の動きを知る』」で、人間関係のいい在り方やストレスなどう向い合うか等、分かりやすく、楽しいお話をた。その後「みんなで育てる地域の子」のフォーラム、そして意見交換会と充実した内容の研修でした。

『第二日目』テーマ「地域の輪を育てていくには」で三分散会に分かれての話合いでしたが、前日提出した自己紹介用紙がコピーされて全員に配られたのが、時間の無い中での話し合いに大変役に立った。今回は和歌山県の他団体の男性指導者の方々が多く参加してくださり、今までと少し雰囲気の違った有意義な会でした。最後に多くの皆様方にお世話をになりましたこと厚くお礼申しあげます。

記 水野 薫



【中国・四国・九州ブロック】

平成十二年六月八日、九日の二日間岡山県で開催された地域組織活動指導者母親クラブ全国大会に参加する機会に恵まれました。私にとって初めてという戸惑いと、緊張の中での参加でしたが、思いの外楽しく過ごすことができました。

中でも「ボランティアは特別ではない、自分の成長になる。」という言葉で私のボランティア感が大きく変わりました。これからは自分自身のために楽しく活動ができるような気がします。また、フォーラムでは母親クラブの良い点、悩み等を聞き、今はまさに若い母親に余裕がない時代ということを強く認識させられ、子どものことだけではなく、若い母親を支えてあげる「つかい棒」の役割をする必要性を感じました。

夜の意見交換の席では、なごやかな雰囲気の中で、他県の方々と同じ経験をした事についてお話しする事ができ、大変力強い思いをいたしました。子どもが好きな「遊び」を提供して行く中で、子どもにより近づき、心をつかみ育んでいけるのは、私達「地域」なのかも知れません。今回、パワーのある方々とお話しする事ができ、私自身、良い意味での強い影響を受けたような気がします。この経験を今後の地域との関わり方に生かしていくればと思いました。ありがとうございました。

記 畠野 久代

全国母親クラブ 活動報告

児童養育に関する研修活動
青森県母親クラブ連絡協議会
北海道・東北・関東
ブロック活動報告

全国母親クラブ

この活動要項に関する県の研修会は、年間五回開催されます。

昭和五十八年から毎年、県内を、八戸、青森、弘前と各三地区に分け、ブロック毎の研修会を行っています。そして年一回は県内統一の研修会と、総会時に半日を研修会に充てます。その他、市、郡、単位クラブで行います。

徹底して研修会に取り組むのは、やはり児童の健全育成は、それ以前に、親達が研鑽を積み、向上していかなければならぬといふ母親クラブの原点を常に見つめ、自覚をし合う必要性を感じるからです。

親のものの考え方や、生き方の大切さを学び合い、自分自身で気づき、子どもに後姿を見せられるように、根本的なものを深くじっくりと思考することはそんなに容易いことではないが追求し合うことが大切だと思います。まことに気づかせることです。そして、自分を是正し乍ら、子育ても、会員としても、リーダーとしてもそこから出発するものだと思います。

言いたいことを放つ、自分の側からだけの自己中心的な親は、子育て以前の問題だと思います。

八月二十五日に、津軽地区ブロック研修会が約二百名の参加で開催されました。が、今迄とは違った角度からの中学校教員の講演があり、親として、心から考えさせられる内容のものでした。午後からの分散会で一人ひとりに意見を求めたら、全員しっかりと受け止め、自分自身を反省したり、方向性を見い出したりの発表でした。角度を変え、見方、考え方を再考させる成果があつた研修会だったことに、何日も前から緊張が一挙にほぐれたように思いました。

今後とも研修会を重視し乍ら、また、周りからも沢山の勉強を拾える眼力も養い乍ら児童の健全育成に役立てたいと思います。

記 平野 京



中部・近畿 ブロック活動報告

児童福祉の向上に寄与する活動

「ふれあうぬくもりあなたとわたし」
「平成いろはカルタ」発刊

静岡県母親クラブ連絡協議会

静岡県母親クラブは、家族や地域の人々が、温かくふれあつて欲しいとの願いをこめて、現代版「平成いろはカルタ」を作成しました。

県内九十クラブの会員に呼び掛けて

子育てや家族、地域にかかる現状をチエックし、言葉を考えてカルタに表現してみました。

県母親クラブの組織は、昭和五十八年十月設立で、「子どもの心が育たない」と投げ掛けられ、活動を始めましたが、親同志の地域での連携の大切さを体験し、やはり基本は親の人間関係にあることを痛感しました。

時の流れは早いもので、昭和から平成へと子ども達を取り巻く環境は様変わりし、時代の病める部分を重傷にしながら突き進んでいます。

今は、生まれた時からメディアの中などつぶりと浸つて育つているわけで、先の見えない恐ろしさを感じます。忙しさにからかって疎かに、またぎこちなくなくなってしまっている家族や地域のふれあいを母親クラブの活動が、少しでも緩和してくれればいいなと思いながら、実行委員会をつくり取り組みました。

言葉の募集は会員から、絵は実行委員会の中のおひとりが描いてくださいました。



英訳は静岡市内の留学生の皆さんのが力をいただきました。また、出来上がつてからの箱作りと箱詰め作業は母親クラブの会員がすべて手作業で協力しております。素晴らしいエネルギーの結集でできあがりました。

何時の時代でも同じだと思いますが、大人たちは常に、子どもたちの居場所の確認や、存在感と付き合いながら、その成長を見届けることを忘れてはいけないと思う。

アンテナを高くし、社会全体の正しい情報をキャッチしながら、連携することでの大切さを、母親クラブの活動を通して学び、素晴らしい仲間づくりができたことは、なによりも地域の健全育成の宝物だと思います。

記 飯野 紀代子

児童事故防止のための活動

中国・四国・九州 ブロック活動報告

香川県母親クラブ連合会

香川県母親クラブ連合会

地域との拘わり方等会員が手を携えて事故防止に取り組んでいます。どんな行事をする時も、皆で考え、皆で工夫し皆で楽しく無理をせずをモットーにして。

記 宮本 陽子

県母連結以来、黄色の足型塗りを県下各地で行っています。各クラブの親子が、自分達の目と足で町内を歩き、危険と思う箇所にベンキで足型を塗ります。道路を横断する時や家から道路へ出るとき、その足型の上へ立ち止まり安全を確認します。筆を持つ子・ハケを持つ子・型枠を持つ子という風に親子で協力して塗つて行きます。これは自分の住む地域をより理解する事にも役立ちます。

事故防止活動も時と共に実施内容を変えて行くクラブもあります。町内の公衆トイレ清掃や公園の遊具点検を行ったり、人工呼吸講習を関係機関の方を招き受けたりもします。又、全町のクラブの親子が一堂に集まり学生の協力を得てぬいぐるみと遊びながら交通ルールのクイズをしたり、シートベルトコンビサーカーの体験を行うクラブもあります。交通安全マスクを作り、ドライバーに配るクラブもあります。この様に香母連では以前は同じ活動を一斉に行つていましたが、今は各クラブ独自で行つております。

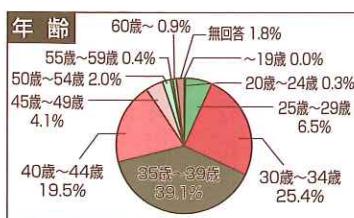
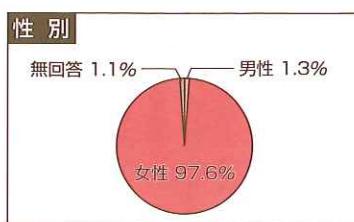
車社会になりましたが交通事故だけが事故ではなく、言葉や行動により体や心に傷を受け、その結果痛ましい事故が起っています。その様な事故を未然に防ぎたいと香母連では毎年『人権教育研修会』を開き、親子の在り方や



第四回『メディア・チェック』の集計結果

4回目の調査は、次の方法により実施した。

■調査期間	2000年7月10日～7月16日(7日間)
■調査協力者	全国母親クラブ連絡協議会に加盟する母親クラブ員
■調査方法	郵送法
■調査対象件数	全国にある3,778クラブに対して、1クラブ当たり3枚のモニター用紙を送付した。
■調査対象件数	モニター用紙発送総数…11,334部 回収数…2,051部(回収率：18.1%) 有効集計対象数…1,730部(15.3%)

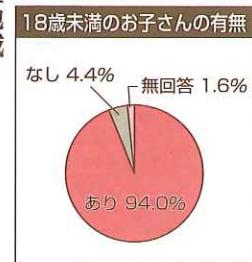


1 回答者の属性
1、性別
回答者の性別は、男性：三二人(一・三%)、女性：一六八八人(九七・六%)、無回答：二〇〇人(一・一%)である。

三、一八歳未満の子どもの有無は、一八歳未満の子どもをもつクラブ員である。

回答者の九四

無回答



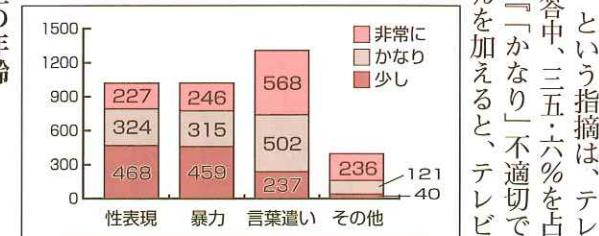
2 回答者の居住地域
都道府県別の回答数を見ると、石川、富山、福井、愛知、和歌山、愛媛からの回答が一〇〇を超えており、平成十二年十月現在、全国に約三千八百クラブがあり、クラブ員数は約二十万六千人が登録されているが、これらの県はいずれも県内のクラブ数が多いところであり、クラブ員数も極めて多い。

3 回答対象のメディア

メディア・チェックの対象をテレビ番組、ビデオソフト、ゲームソフト、コミック本、雑誌、その他の出版物、その他に区分して回答結果は、テレビ番組に関する回答が最も多く、約八四%となっている。モニターにとって、家庭内での最も身近なメディアといえよう。その他の調査対象メディアとしては、雑誌(六・三%)、ゲームソフト(四・五%)、コミック本(三・一%)の順である。

4 内容評価
性表現、暴力シーン、言葉遣いの内容評価については、言葉遣いに関する回答が最も多い。メディア別の回答の割合について、前述通りテレビ番組に関する回答が最も多かったが、「切である」という指摘をしてきている。回答が一三〇〇を超える全回答の七五%を占めている。「言葉遣いが非常

に不適切である」という指摘は、テレビ番組に関する回答中、三五・六%を占めている。これに「かなり」不適切である」の三一・一%を加えると、テレビ番組では、六七%が言葉遣いが不適切であるという評価をしている。

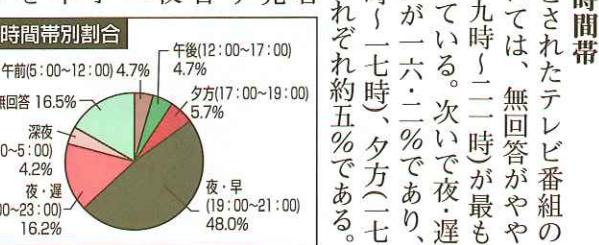


5 有害となる児童の年齢
モニターによる回答では、全体に小学校低学年を挙げるモニター数が最も多く、七七・八%となっている。次いで、小学校低学年、同高学年、中高生の区

分による回答では、全体に小学校低学年を挙げるモニター数が最も多く、七七・八%となっている。次いで、小学校高学年、幼稚園、中高生の順となつていて、複数回答で行われている。幼児、

6 テレビの放送時間帯
モニター対象とされたテレビ番組の放送時間帯については、無回答がやや多いが、夜・早(一九時～二二時)が最も多く四八%を占めている。次いで夜・遅(二二時～三三時)が一六・二%であり、午前や午後(二二時～一七時)、夕方(一七時～一九時)は、それぞれ約五%である。

先に触れた内容を見てみると、夜の遅い時間帯(二二時～三三時)に小学校低学年・高学年や幼児がテレビを見ることが多い。



二、年齢
三五～三九歳のクラブ員からの回答が最も多く、三九・一%を上めている。次いで多い三〇～三四歳の一五・四%が三〇歳代のクラブ員からの回答である。

三五～三九歳のクラブ員からの回答が最も多く、三九・一%を上めている。次いで多い三〇～三四歳の一五・四%が三〇歳代のクラブ員からの回答である。

5 有害となる児童の年齢
モニターによる回答では、全体に小学校低学年を挙げるモニター数が最も多く、七七・八%となっている。次いで、小学校低学年、同高学年、中高生の区

分による回答では、全体に小学校低学年を挙げるモニター数が最も多く、七七・八%となっている。次いで、小学校高学年、幼稚園、中高生の順となつていて、複数回答で行われている。幼児、

6 テレビの放送時間帯
モニター対象とされたテレビ番組の放送時間帯については、無回答がやや多いが、夜・早(一九時～二二時)が最も多く四八%を占めている。次いで夜・遅(二二時～三三時)が一六・二%であり、午前や午後(二二時～一七時)、夕方(一七時～一九時)は、それぞれ約五%である。



行政だより

厚生省児童家庭局育成環境課

健全育成係長 青木 建

はじめに
いよいよ二十一世紀の幕開けです。
厚生省も厚生労働省として、まさに
「人の一生」に関わる官庁として新た
なスタートとなります。よろしくお願
いいたします。

平成十三年度児童健全育成対策関係予
算案の概要

○放課後児童健全育成事業の充実

新エンゼルプランに基づき、放課後
児童クラブ事業を計画的に推進してい
くこととし、実施ヶ所数を九千五百ヶ
所から一万ヶ所に増やすとともに、新
たに過疎地等における十人以上の小規
模の放課後児童クラブに補助対象を拡
大、障害児の受入の促進を図るため、拡
障害児受入促進試行事業を創設するこ
とにより、事業の一層の推進を図る。

○児童厚生施設の整備の推進

子育て支援や中・高校生等の年長児
童の活動を援助する機能を備えた児童
館の整備の促進を図る。

○民間児童厚生施設等活動推進事業
創作活動、体力増進活動等の活動に対
し助成を行い、児童健全育成の推進を
図る。

○地域組織活動育成事業
児童館等との有機的な連携強化を図
り、地域組織活動の推進を図る。

○児童健全育成活動情報緊急推進事
業

児童館にパソコンを設置し、子ども
が自由にパソコンで遊べる環境を作り、
児童館のIT化、年長児童の居場所の
確保、集団による遊び等児童館活動の
活性化を図る。

おわりに

「まちの子はみんなわが子」の合い
言葉は、世紀を越えて変わるもので
はありません。今年も家庭と地域社会
を結ぶパイプ役としての皆さまのご活
躍を期待しております。

新会長のご紹介

平成十二年度各県・市母連の総会に
おいて会長の異動がありましたのでご
紹介いたします。

茨城県母連 八木廣子会長が退任さ
れ根津久美子会長がご就任。

島根県母連 山野泰子会長が退任さ
れ森口順子会長がご就任。

茨城県母連 八木廣子会長が退任さ
れ根津久美子会長がご就任。

新年明けまして
事務局だより

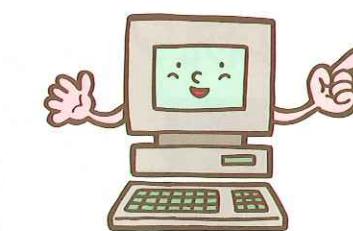
おめでとうございます。

さて、「全国母親クラブだより」の
第8号をお届けいたします。今年は写
真のとおり、各ブロックより選任の編
集委員3名のかたのご協力により発行
いたします。皆様どうぞ宜しくお願い
いたします。

今後とも、各地域での活動および伝
承遊びあるいは写真等、参考になるも
のがありましたら編集委員及び事務局
まで寄稿下さいますようお願い申し上
げます。



島根県母連 森口順子会長 茨城県母連
根津久美子会長



各ホームページアドレス
厚生労働省
<http://www.mhlw.go.jp/>
全国母親クラブ連絡協議会
<http://www.hahaoya-club.ne.jp/>
財団法人 児童健全育成推進財団
<http://www.jidoukan.or.jp/index.html>



中国・四国・九州ブロック
熊本県母連
中川久美子会長



中部・近畿ブロック
静岡県母連
飯野紀代子会長



北海道・東北・関東ブロック
群馬県母連
中村京子会長

● FAX番号が変更になりました。
03(3486)5142